



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	294,266	△13.1	7,517	△2.8	7,230	△9.3	12,728	158.5
2020年3月期第3四半期	338,801	95.0	7,732	34.5	7,975	32.9	4,924	1.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 12,921百万円 (156.2%) 2020年3月期第3四半期 5,043百万円 (23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	463.49	—
2020年3月期第3四半期	179.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	224,333	93,838	40.0
2020年3月期	207,638	86,250	37.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 89,845百万円 2020年3月期 78,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 特別配当 10円00銭

2021年3月期（予想） 期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 特別配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	415,000	△6.5	9,000	△10.1	8,500	△16.1	10,500	79.4	382.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年2月4日）公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 株式会社エクセル、先進顯示科技（香港）有限公司

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	28,702,118株	2020年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,229,603株	2020年3月期	1,243,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	27,462,845株	2020年3月期3Q	27,447,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（9ヵ月）は、各国における新型コロナウイルス感染症の拡大や断続的なロックダウンなどにより、需要の落ち込みや製造業における一部工場の稼働停止など世界経済が大きく影響を受けた期間でした。当社グループ内においては、情報機器事業はコロナ禍の中で、テレワークなどのPC需要をしっかりと取り込みました。また、電子部品事業では、2020年4月より株式会社エクセル（以下、「エクセル」）を新たにグループ会社に加えましたが、加賀F E I株式会社^{（注1）}（以下、「加賀F E I」）の大口取引先との販売代理店契約解消による売上高の減少を補うには至りませんでした。

これらの結果、当期間における当社グループの売上高は、2,942億66百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

一方、利益面では、売上高の減少にともなう売上総利益の減少を補うべく、テレワークやオンライン会議の積極活用など業務の効率化を推進するとともに出張や会食の原則禁止など販売費及び一般管理費の抑制・縮減に努めた結果、営業利益は75億17百万円（前年同四半期比2.8%減）、経常利益は72億30百万円（前年同四半期比9.3%減）となり、概ね前年並みの利益水準にまで回復いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、エクセル買収にともなう「負ののれん発生益（79億63百万円）」を特別利益として計上したことなどにより、前年同四半期を大きく上回る127億28百万円（前年同四半期比158.5%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間を底にして需要は持ち直しつつあり、当第3四半期連結会計期間（3ヵ月）では売上高は概ね前年並みの水準に回復、利益面では売上総利益以下、すべての利益項目で増益に転じております。

	前第3四半期 連結累計期間 （自2019年4月1日 至2019年12月31日）	当第3四半期 連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年12月31日）	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	338,801	294,266	△44,535	△13.1%
売上総利益 （利益率）	35,245 10.4%	33,646 11.4%	△1,598 1.0pt	△4.5% —
販売費及び一般管理費	27,513	26,129	△1,383	△5.0%
営業利益	7,732	7,517	△214	△2.8%
経常利益	7,975	7,230	△744	△9.3%
税金等調整前四半期純利益	7,587	14,842	7,255	95.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,924	12,728	7,803	158.5%
為替レート（期中平均） U S ドル	108円67銭	106円11銭	△2円56銭	—

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体および一般電子部品の販売、EMS^{（注2）}を通じた開発・製造・販売など）

当事業では、部品販売ビジネスは、2020年4月よりエクセルを当社のグループ会社としたことによる増収効果がありました。加賀F E Iが大口の販売代理店契約を解消されたことなどにより売上高は大きく減少いたしました。また、EMSビジネスでも、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう各国のロックダウンなどにより当社および顧客企業の海外生産拠点において一部操業休止や生産調整の影響を受けました。しかしながら、経済活動の再開を背景に、主として車載向けや産業機器向けなどが持ち直し、当第3四半期連結会計期間では売上高は概ね前年並みの水準に回復、セグメント利益では増益に転じております。

これらの結果、売上高は2,467億4百万円（前年同四半期比16.0%減）、セグメント利益は54億18百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

（注1）2019年1月よりグループ会社である「富士通エレクトロニクス株式会社」は、2020年12月29日付で「加賀F E I株式会社」に社名変更いたしました。

（注2）Electronics Manufacturing Serviceの略語。電子機器の開発・生産を受託するサービス。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

当事業では、コロナ禍の中、緊急事態宣言に対応して企業ではテレワークが、学校ではオンライン授業が増加したことによりパソコン、PC周辺機器およびセキュリティソフトの販売が伸びました。また、商業施設向けにLED照明の設置ビジネスが堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は339億37百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は17億53百万円（前年同四半期比105.2%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などにおいて、いわゆる“巣ごもり需要”の拡大にともなう受注案件の増加や顧客からの前倒し発注などにより堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は20億4百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は1億6百万円（前年同四半期比999.3%増）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスは堅調に推移いたしました。アミューズメント業界向けゲーム機器やゴルフ用品販売は新型コロナウイルス感染症拡大防止にともなう行政からの断続的な自粛要請の下、長期間にわたった店舗休業の影響を受け、低調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は116億19百万円（前年同四半期比15.2%減）、セグメント利益は1億49百万円（前年同四半期比59.1%減）となりました。

		前第3四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	293,527	246,704	△46,823	△16.0%
	セグメント利益	6,418	5,418	△1,000	△15.6%
情報機器事業	売上高	29,789	33,937	4,148	13.9%
	セグメント利益	854	1,753	898	105.2%
ソフトウェア事業	売上高	1,788	2,004	216	12.1%
	セグメント利益	9	106	97	999.3%
その他事業	売上高	13,696	11,619	△2,076	△15.2%
	セグメント利益	364	149	△215	△59.1%
合計	売上高	338,801	294,266	△44,535	△13.1%
	セグメント利益	7,732	7,517	△214	△2.8%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

〈参考〉直近3カ月の経営成績

①当第3四半期連結会計期間の状況

	前第3四半期 連結会計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	108,170	105,406	△2,764	△2.6%
売上総利益 (利益率)	11,474 10.6%	12,005 11.4%	530 0.8pt	4.6% —
販売費及び一般管理費	8,982	8,923	△59	△0.7%
営業利益	2,492	3,082	590	23.7%
経常利益	2,428	2,892	463	19.1%
税金等調整前四半期純利益	2,284	2,715	431	18.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,422	1,956	534	37.6%

②セグメント別の状況

		前第3四半期 連結会計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	93,708	89,816	△3,891	△4.2%
	セグメント利益	2,180	2,335	154	7.1%
情報機器事業	売上高	9,820	10,745	924	9.4%
	セグメント利益	236	592	356	150.9%
ソフトウェア事業	売上高	455	730	274	60.2%
	セグメント利益	△37	20	57	—
その他事業	売上高	4,185	4,114	△71	△1.7%
	セグメント利益	105	112	7	7.4%
合計	売上高	108,170	105,406	△2,764	△2.6%
	セグメント利益	2,492	3,082	590	23.7%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,243億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ166億95百万円の増加となりました。

流動資産は1,872億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ129億58百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が29億49百万円、受取手形及び売掛金が27億38百万円、商品及び製品が55億10百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は370億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億36百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が17億80百万円増加したことによるものであります。

負債は1,304億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ91億6百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が55億88百万円減少し、短期借入金が166億72百万円増加したことによるものであります。

純資産は938億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億88百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益127億28百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績などを踏まえ、2020年11月5日に公表いたしました2021年3月期連結業績予想および配当予想を以下のとおり修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年2月4日）公表の「業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	410,000	7,500	7,500	10,000	364.18
今回修正予想（B）	415,000	9,000	8,500	10,500	382.30
増減額（B）－（A）	5,000	1,500	1,000	500	－
増減率（％）	1.2	20.0	13.3	5.0	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	443,615	10,014	10,137	5,852	213.21

配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 （2020年11月5日発表）		30円00銭	60円00銭
今回修正予想		40円00銭 （普通配当 30円00銭） （特別配当 10円00銭）	70円00銭 （普通配当 60円00銭） （特別配当 10円00銭）
当期実績	30円00銭		
前期実績 （2020年3月期）	30円00銭	40円00銭 （普通配当 30円00銭） （特別配当 10円00銭）	70円00銭 （普通配当 60円00銭） （特別配当 10円00銭）

（注）上記の業績予想につきましては、当社が公表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,384	46,334
受取手形及び売掛金	85,495	88,234
電子記録債権	5,876	5,038
有価証券	254	286
商品及び製品	25,276	30,787
仕掛品	567	1,463
原材料及び貯蔵品	6,063	6,632
その他	7,601	8,776
貸倒引当金	△188	△262
流動資産合計	174,331	187,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,365	7,556
機械装置及び運搬具（純額）	4,477	5,100
工具、器具及び備品（純額）	1,060	1,369
土地	4,924	5,074
建設仮勘定	145	162
有形固定資産合計	17,974	19,263
無形固定資産		
のれん	322	237
ソフトウェア	1,743	2,356
その他	190	80
無形固定資産合計	2,256	2,674
投資その他の資産		
投資有価証券	8,502	10,282
繰延税金資産	1,584	1,786
差入保証金	857	926
保険積立金	894	909
その他	1,791	1,769
貸倒引当金	△552	△568
投資その他の資産合計	13,075	15,105
固定資産合計	33,306	37,043
資産合計	207,638	224,333

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,188	64,599
短期借入金	6,540	23,212
未払費用	5,739	4,541
未払法人税等	1,884	920
役員賞与引当金	101	13
その他	9,201	8,761
流動負債合計	93,655	102,049
固定負債		
長期借入金	20,833	20,169
繰延税金負債	1,378	1,670
役員退職慰労引当金	95	103
退職給付に係る負債	1,969	2,483
資産除去債務	329	347
その他	3,127	3,671
固定負債合計	27,732	28,445
負債合計	121,388	130,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,878	14,344
利益剰余金	55,091	65,897
自己株式	△2,005	△1,983
株主資本合計	79,097	90,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	948
繰延ヘッジ損益	28	△15
為替換算調整勘定	△707	△1,367
退職給付に係る調整累計額	△133	△111
その他の包括利益累計額合計	△812	△546
非支配株主持分	7,965	3,993
純資産合計	86,250	93,838
負債純資産合計	207,638	224,333

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	338,801	294,266
売上原価	303,555	260,619
売上総利益	35,245	33,646
販売費及び一般管理費	27,513	26,129
営業利益	7,732	7,517
営業外収益		
受取利息	190	97
受取配当金	163	169
受取手数料	182	126
為替差益	98	—
その他	336	444
営業外収益合計	972	838
営業外費用		
支払利息	235	227
持分法による投資損失	357	424
為替差損	—	405
その他	136	66
営業外費用合計	728	1,124
経常利益	7,975	7,230
特別利益		
固定資産売却益	19	1
投資有価証券売却益	73	39
負ののれん発生益	—	7,963
事業譲渡益	12	7
受取和解金	498	—
その他	1	20
特別利益合計	605	8,031
特別損失		
固定資産除却損	8	24
投資有価証券売却損	54	—
投資有価証券評価損	553	311
特別退職金	127	23
減損損失	245	—
その他	4	60
特別損失合計	993	420
税金等調整前四半期純利益	7,587	14,842
法人税、住民税及び事業税	1,642	1,653
法人税等調整額	612	537
法人税等合計	2,255	2,191
四半期純利益	5,332	12,650
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,924	12,728
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	407	△77

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	945
繰延ヘッジ損益	12	△43
為替換算調整勘定	△418	△730
退職給付に係る調整額	30	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	78
その他の包括利益合計	△288	270
四半期包括利益	5,043	12,921
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,704	12,994
非支配株主に係る四半期包括利益	339	△72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2020年4月1日付をもって、当社グループの成長戦略の一環として、当社が株式会社エクセルの株式を100%取得し、子会社化いたしました。これにともない、擘華企業股份有限公司、卓華電子（香港）有限公司、卓英国際貿易（上海）有限公司、EXCEL SINGAPORE PTE LTD.、卓英電子貿易（深圳）有限公司、ADVANCED DISPLAY SOLUTIONS 株式会社、先進顯示科技（香港）有限公司、EXCEL ELECTRONICS TRADING (THAILAND) CO., LTD.、アルファバスジャパン株式会社が間接所有子会社となりました。

なお、株式会社エクセルおよび先進顯示科技（香港）有限公司は、それぞれその資本金の額が当社の資本金の額の100分の10を超えるため、特定子会社となりました。

ADVANCED DISPLAY SOLUTIONS株式会社は、2020年10月1日に株式会社エクセルと株式会社エクセルを存続会社とする合併を行いました。

アルファバスジャパン株式会社は、間接所有子会社となって以降支配が一時的であると認められたため非連結子会社といたしました。2020年10月30日、同社が第三者からの出資を受入れたことにより子会社から除外いたしました。

株式会社エクセルは2020年11月1日に減資したため、特定子会社から除外いたしました。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大にともなう会計上の見積りについて)

固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りにつきましては、当第3四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は当連結会計年度末日まで継続し、来期以降は緩やかに回復すると仮定して見積りを行っておりますが、過去に例を見ない新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不確実な部分があるため、事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	293,527	29,789	1,788	13,696	338,801	—	338,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,867	782	381	2,595	5,627	△5,627	—
計	295,394	30,572	2,170	16,291	344,428	△5,627	338,801
セグメント利益	6,418	854	9	364	7,647	84	7,732

(注) 1. セグメント利益の調整額84百万円には、セグメント間取引消去84百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	246,704	33,937	2,004	11,619	294,266	—	294,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,826	3,532	601	3,272	9,232	△9,232	—
計	248,530	37,469	2,606	14,892	303,498	△9,232	294,266
セグメント利益	5,418	1,753	106	149	7,427	89	7,517

(注) 1. セグメント利益の調整額89百万円には、セグメント間取引消去89百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。